

竹取新聞

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第80版

理念と実践で
絆を結びます

大切な「今」を伝える

園の理念を外部へ発信・内部へ浸透させる仕組みである、ミッションページ(※)の導入研修のため、福岡県北九州市にある専城乳児保育園様へお伺いしました。

今回、改めて園の理念を整理して定めたのが、「子ども達に寄り添う優しさを大切にしています」という理念の言葉。この言葉には「今を大切にすること」ということは、未来を大切にすることということ、園長先生が大事にされている「一期一会」の心が込められています。その理念の言葉から職員の方々が日々の保育を振り返り、保護者や地域の方々に発信していく「園のこだわり」

ブログには、子どもたちの二度とない「今」を切り取った姿、そして先生方自身の「今」の思いが綴られています。例えば、園庭にあるパンダ



【ミッションページ】(※)園の理念を発信する為のホームページです。

の遊具に向かって、「おなかすい」とるん？」「これどうぞ」と語りながらやさしくパンダをなでている子どもの姿と、そこに「思いやりの心の芽」が伸びる瞬間を感じた先生のまなざし、それがブログからありありと伝わってきました。0〜2歳までの乳児の保育園であり、小さくてまだ自分では上手く言葉で表現できない子どもたちの姿までも、保護者へ伝えてあげたいという思いで始まった園様のこの新たな実践。私たちも現場の先生方、その先の子どもたちとの一期一会からいただいた学びを、これからも大事に発信していきたいと思えます。

個々を尊重する

東京都八王子市にあるせいがの森保育園の「成長展」を見学させて頂きました。

内容は「作品展」のイメージに近いのですが、「成長展」の特徴はその名のとおり、一年間の子ども達の成長が分かる展示となっています。例えば、4、8、12月に描いた自由画を子ども毎に縦に並べることで、心の表現や絵画的な技法など、その子の発達のプロセスが見えてきます。また、4月からの体重の増加を、身近なじやがいもで実際に再現し、そのじやがいもの入った袋を持ってみることで健康面の成長を実感できるコーナーも。他にも人間関係や言葉の面など多角的に子ども達の成長が見える工夫がなされ、そこには年齢での発達や他の子どもとの比較ではなく、子ども一人ひとりの成長が感じられる場が確かにありました。

部屋をまわると、保護者や保育者が、子どもに温かい声掛けや眼差しをむけ、子どもも自信満々で嬉しそうな笑顔を見せるシーンが沢山ありました。子ども達の成長や発達を、本人と一緒に喜び味わう中に、保育の仕事の深さや楽しさを感じることができました。

私たちも同じように、大人に対しても年齢の刷り込みや比較ではなく、その人自身を尊重した関わりを大事にしていきたいと思えます。



定期的に描いた作品には1年間の発達がい！！



体重の増加を当てるクイズ。めくると正解が！

理念を深める

福岡県太宰府市にあるゆたか保育園様へお伺いしました。

園長の岩本先生は今、法人の理念を可視化したり、働く人全員に浸透しやすい環境づくりに励んでいらつしやいます。まずは理念をHP(ホームページ)上で分かりやすいように整理、可視化する。そして、園内のそれぞれの役割で働く先生方が、理念から日々の仕事を振り返り、実践して気づいたことをブログで綴り、HPに実践記事が蓄積されていく。そんな仕組みと一緒に構築させて頂く中で、岩本先生から沢山の事を学ばせて頂きました。

理念の可視化や働く先生方への浸透の為のHP作りは「手段」であり、「目的」ではないということを実感します。あくまで、目的は「理念の実現」であり、日々理念実践を自身で行っては深めていくお姿からは、理念を「理解すること」よりも「深めていくこと」の大切さを教えて頂きました。

私たちクルーも理念を実践から深め続けていくことを日々の様々な瞬間の中で大切にしていきたいと思えます。

特に印象的だったのは、ご自身で何度となく、理念を深めていかれるお姿でした。資料を頂くたびに、ご自身が理念を実践し、深めていらつしやるのが伝わってきました。

岩本先生にとつて、今回の

保育理念
子ども達を主体的に担任し見守ること
あつて人間として人間らしく育ち
あつて
保育方針
大人によって愛され、守られ大切にされていく実感を子どもたちが持つ事
保育目標
感謝の心を持つ人
思いやりの心を持つ人
自分で考えて行動する人

思いや理念が深まっていくことで、先生方も誇らしく感じるのではないのでしょうか。

CCN Caguya Company News カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。



顔を見ての打合せ



お囃子体が盛り上げています

あるクルーがインフルエンザで休んだその日、私たちクルーにとっても大切な一日となりました。その日は、熊本の保育園とパソコンを通してのスカイプミーティングが予定されており、休んだクルーが本来担当するはずでした。休んだ本人も「自分のせいで延期、悔しい…。」そう思っていた最中、別のクルー

大切な一日

「が」今いるクルー皆でやりましょう！先生たちも担当がないことよりも、皆で参加してもらったら安心するかもしれないから「ねー」その一言で、皆でパソコンの前に集まりました。この日は園様にとっても、私たちにとつても一年目のお祝いの日。本当は担当から表彰状を手渡せたら、思っています。が、皆で渡せるといことは、色々なことができる！と、それぞれが考えて七福神のお面をかぶったり、太鼓や鈴を持つお囃子隊も登場！パソコン越しにお祝いの雰囲気味わって頂き、私たちにとつても大切な一日となりました。



鬼に大抜擢された「前厄トリオ」事件の臭いがします…



本気です！全員必至！！「痛…っ！！」なのに笑える♪



知られざる過去が明らかに！？深～い話もいっぱい出ました。



見事、鬼は退治され、室礼も鬼撃退バージョンへ

今年は何んと、前厄にあたるクルーが三人も一せつかなので厄払いも兼ね、後厄が明けるまでの3年間、鬼役を務めてもらうことになったのですが、「事件を呼ぶクルー」の二人ともが鬼になったことで、はじめは穏やかに行われていた豆撒きも、いつしか豆を奪い取った鬼の猛反撃が始まり、様相は一転、サカカに合戦ならぬ豆撒き合戦となったのです。社内には悲鳴と笑い声が入り乱れ、豆が縦横無尽に飛び交います。

福豆

鬼退治の後は、歳の数だけ豆を食べますが、今年は何と一つ二つと一緒に数えながら、一斉に食べていくことに…。十七、高校の時は毎日遊んでばっかりいなあ。二十、結婚して子どもが生まれた歳だ。次々と記憶が甦ります。二十七、僕はこれラストです。早いなあ！私まだ先が長いよ。いつまでも思い出は尽きません。一粒一粒互いの人生に想いを馳せ、分かち合った思い出の数だけ、豆と一緒に「福」をいただいた気がします。

仲間の誕生日

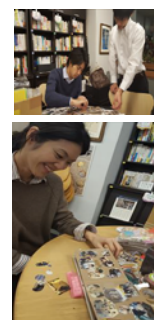
クルーの誕生日に両親へ宛てたハッピーポートフォリオ(PF)をお渡ししています。そこにはクルー全員から両親へのお礼メッセージと、誕生日日本人の1年の成長が伝わる写真を載せています。

先月も仲間の誕生日に向けて、PFづくりを行いました！本人も交えて制作していくので、自然と小さい頃の家での話や、大人になった今の家族とのつ

一期一会庵

「感化力」

先日、ある保育園で「貝磨ぎを指導して下さる先生と一緒に理念研修を行いました。これは貝を磨くことを通じて、自分をどう磨いて光らせていくか」ということを学ぶ内容になっています。昔から自然物を通して磨くのは、謙虚に自分を磨いていくことと同じとされ大切にされてきたそうです。古来から日本人は、生活の身近なところで磨ぎ(研ぎ)体験を沢山していたと言います。私も本格的に研ぎを体験したのは1年前からですが、如何にこの「磨ぎ(研ぎ)」が人を育てるのか改めて実感するばかりです。貝磨ぎの研修でははじめに周りの人と交代しながら手を取り合って「磨ぎ合し」というのをします。これは一人が貝を持ち、もう一人が紙やすりを持ち御互いの手を磨ぎ台にして交代で磨ぎ合うのです。ここからは先輩たちの磨ぎ方と一緒に磨く仕上げ、磨ぎ方の個性、磨ぎ合える御縁について感じ取ります。その後、それぞれ一人で貝を光らせるための磨ぎに入ります。ここからは紙やすりをい



懐かしい写真に話がつきません！

ながらなど、普段社内では話さないような話題が飛び出します。ワイワイと、とても賑やかですが、こうして作っていると、仲間との御縁が沢山の見守りによって支えられているのを感じます。この時間が、味わい深い、かけがえのない時間になっています。

編集後記

出会いと巣立ちの春。そして年度替わりの候。つい忙しくなりますが、今までの沢山の御縁に感謝しながら、新しい出会いを迎える準備をしたいですね。今月もご愛読頂きまして、有難うございました。

一人ひとりの磨ぎ方が生き方になり周囲を光らせる「感化力」になっていることを忘れずに、日々子ども第一主義の理念を実践で磨いていきたいと思います。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。



本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)